米国気象学会と日本気象学会との覚書*

大気科学および関連科学の知識の創造と普及を支援するという共通の目標を持つ組織として、米国気象学会（AMS）と日本気象学会（MSJ）は、相互協力に関する以下のガイドラインに同意する。

1. 協働および情報交換

両学会の相互利益のため、AMS と MSJ は共同作業を促進し、次の方法での情報交換を行うこととする。

- ・相手方学会サイトへのリンクを学会ウェブサイトを作成する。
- ・相手方学会主催会議のスケジュールを学会カレンダーにリストする。
- ・これら相互協力の活動を学会員に喚起するため、相手方学会の活動を随時報告する。
- ・次のような問題に関する報告書またはホワイトペーパーに関する協働または協力：気候変動、顕著なまたは災害級の気象、科学教育、その他両学会での活動。
- ・電子メール交換、合同会議、その他同意された他のメカニズムを含む、各学会の企画の発展に資する案件についての協働。

2. 声明等の支持

AMS は、科学および政策の問題に関する公式声明を随時公開している。声明等の作成を統制する AMS の方針（ポリシー）は、AMS に対し、AMS 自身の声明等の承認はもとより、AMS が相手方学会の声明を支持する可能性を AMS に提供することも推奨するものとする。AMS は、2つの組織間のこのような支持／承認に関して MSJ と協働する。

3. 会議の協力

各学会は、相手方学会の年次大会の共催団体として列挙されるとともに、その協力学会の会員は主催する相手方学会の会議の減額参加費（reduced registration fee）の適用を受けることができるものとする（その主催学会の連携会員のための減額参加費は、相手方学会の正会員が利用できる会員向け参加費よりも高い場合があり得る）。

場合によっては、協力学会は主催する相手方学会の会議においていくつかのセッションを開催することに合意したり、合同会議を組織したりする。そのような状況においては、各学会の費用負担や責任分界を規定する個別の覚書が準備されるものとする。

各学会は、年次大会で1つの無料展示スペースを提供するものとする（ただし、装飾のためなど展示スペース料金を超える料金については課金され、また、展示する学会は出展者契約に署名する必要がある）。

4. 相互会員資格

a. AMS 会員資格

MSJ 会員は、電子版 BAMS (Bulletin of the American Meteorological Society) の購読権、全ての雑誌、本、その他の AMS 製品の会員価格での提供、全ての AMS 主催会議への会員向け参加費の適用といった、AMS ウェブサイトに記載されている便益の提供を受ける「連携会員 (Affiliate Member)」として AMS に参加できる。連携会員の年会費は、この覚書手交の時点における AMS の平均年会費から 30%割引いた額とする。ただし、この額は、AMS 裁量のもと経時的に増加することがある。MSJ 会員は、AMS に直接、連携会員資格の申請を行い、AMS がその申請対応や年次更新作業を担うものとする。その際、MSJ 会員は MSJ 会員番号 (またはその他の適切な認証情報) の提示を求められ、その番号は AMS からの求めに応じて MSJ によって確認されるものとする。

b. MSJ 会員資格

AMS 会員は、電子版気象集誌 JMSJ (Journal of the Meteorological Society of Japan) 及び SOLA (Scientific Online Letters on the Atmosphere) の購読権、その他全ての MSJ 刊行物の会員価格での購入権、MSJ が主催する全ての会議・会合への会員向け参加費の適用といった、MSJ ウェブサイトに記載されている便益の提供を受ける「準会員 (Associate Member)」として MSJ に参加できる。準会員の年会費は、MSJ 正会員の年会費から 30%割引いた額とする。ただし、この額は、MSJ 裁量のもと経時的に増加することがある。AMS 会員は、MSJ に直接、連携会員資格の申請を行い、MSJ がその申請について対応するものとする。AMS 会員は AMS 会員番号 (またはその他の適切な認証情報) の提示を求められ、その番号は MSJ からの求めに応じて AMS によって確認されるものとする。

5. 会員向け出版物

MSJ には BAMS の組織向け無料購読権が提供される。AMS には「天気」(MSJ 機関誌) の組織向け無料購読権が提供される。

6. 財政的義務

両学会も、他方に対して財政的な義務を負わない。財政措置を必要とするような両学会の共同プログラムや活動については、その活動のための個別の MOU を結ぶものとする。

7. 協定期間

この協定は、施行から 5 年後に失効するが、協定延長の意向を示す AMS および MSJ の適切な代表者によって署名された書簡に基づき、5 年間の延長更新ができるものとする。この協定は、いずれかの学会から書簡による 30 日間の通知により終了することができる。

* 本文書は、2020年7月1日付で発効した”Memorandum of Understanding between American Meteorological Society (AMS) and Meteorological Society of Japan (MSJ)”の日本語訳であり、日本気象学会員向けに説明の一助として作成されました。MOUは英語の現文書に基づいて交わされており、日本語訳に関する文責は日本気象学会にあります。